

みんなの心のよりどころ ホッとステーション

【地域住民】がつながる

◆地域で「」マークがあるところを気軽に「居場所」として活用できる

◆場所によっては「困り事相談」や「就労訓練・ボランティア」が利用できる。

気軽に立ち寄れるみんなの「居場所」を身近な地域でいっぱい作る活動です。

【協同機関・団体・店舗】

がつながる

可能な範囲で「時間・場所」を地域へ提供(解放)することで、地域活動&SDGs活動に参画。

《ホッとdeネットワーク》

◆LINE WORKS(SNS)でネットワークをつくり、各機関同志で活動や催事情報の発信&共有ができる。

◆【発災時】⇒情報収集及び協力関係が築ける。



ちばSDGs
ちばSDGsパートナー191号



登録数

65 機関

(R4.11.25現在)



山武圏域のいたるところ
で『気軽に居てもイイ』
場所を増やす活動！



いろいろなカタチの「ホットステーション」①

(各機関・団体・店舗が可能な範囲で居場所を提供)

活動方法

各事業所が管理できる範囲内で協力する。

【提供頻度・時間】

- 例1) 毎週(月)・10-14時
- 例2) 月-金・13-17時
- 例3) 原則、開店時間内

【提供場所】

- 例1) 店舗内ロビー
- 例2) 店舗内空テーブル
- 例3) 店舗前ベンチのみ

【その他】

- 例1) まん延防止時中止
- 例2) 混雑時時間制限
- 例3) 混雑時場所移動



基本1

基本2

トッピング



ちばSDGs
ちばSDGsパートナー191号



①居場所の提供



①居場所の提供

②お困り事の受止めと相談機関紹介



①居場所の提供

②お困り事の受止めと相談機関紹介

③仕事・ボラ受入れ

④子ども食堂
(食の提供)

⑤食糧・物資支援

+αとして、店舗毎に可能な支援をトッピング可能

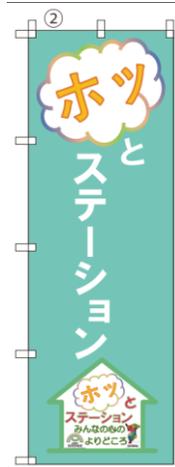
PR方法



こども110番のようなイメージ



①ステッカー



②のぼり旗

どれかを店舗に表示して利用できることをPRする。



③ベンチ



いろいろなカタチの「ホッとステーション」②

(各機関・団体・店舗が可能な範囲で居場所を提供)



ちばSDGs



山田助成

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

《必須》

ホッとステーション 【居場所】

地域の機関・団体・店舗が「可能な範囲」で、ゆっくりできる居場所を提供し合うことで、誰でも気軽に立ち寄れる「居場所」が増える。協力者が増えることで、地元地域住民にとっての拠り所(居場所)も増える。

《任意※可能な機関は合わせて実施》

お悩み相談【相談】

何かのきっかけで相談を受けた際に相談に乗り、適切な支援機関を紹介する。

ちいき(子ども)食堂【参加】

食を通じて孤独や孤食の解消及び食の楽しさを伝える活動を行う。(食の配布含む)

フードバンク・物資支援活動 【ネットワーク】

物資支援を通じて生活困窮への支援を行い、様々な生活上の相談の機会の創設を図る。

協同機関同士がSNSで繋がることで地域ネットワークができる！

日常の繋がり・連携
⇒⇒ 緊急時の協力体制

市町の枠を超えて、地域全体で下記のことができるようになる。

1. 地域の協同機関同士で相互に情報共有や協力要請・支援協力ができる（例：食糧のお裾分け、イベントのボランティア募集、活動の周知依頼など）
2. 下記会社や機関の催事や活動のPR及び周知ができる。
3. 台風や地震などの発災時に地域の被害状況や支援依頼・協力の申し出などができる

